

教 育 委 員 会 会 議 録

令和6年1月

教育長	教育次長	学校教育課長	社会教育課長	会 議 ・ 区 分
				定 例 会
開会場所	加悦保健センター(元気館) 2階 農事相談室		担当書記	中 上 伸 午
会議日程	自 令和6年1月30日(月) 至 令和6年1月30日(月) 1日間			
出席者数	委員 5名 出席			
出席委員	教育長 長島 雅彦 委員 樋口 潔 委員 佐々木 和代		委員 岡田 三栄子 委員 酒井 英隆	
欠席委員				
説明者	教育次長兼学校教育課長 社会教育課長 小谷 貴儀 総括指導主事 高岡 弘安		中上 伸午 学校教育課長補佐 吉田 達雄 指導主事 杉本 淳	
署名委員	委員 酒井 英隆 委員 佐々木 和代			
その他	【傍聴者】 なし			

会 議 に 付 し た 事 件

項 目	件 名	結 果
審議事項	・なし	

協 議 及 び 報 告 事 項

項 目	件 名
協議事項	・なし
報告事項	・なし
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度いじめ調査（2回目）報告及びいじめ調査（1回目）追跡調査報告について ・令和5年度第2回学級満足度調査結果概要 ・令和6年度学校教育指導の重点 ・学力状況の広報について ・学校等の適正規模適正配置に関する基本方針について ・今後の予定について ・追加議案

教育委員会会議録

- 1 日 時 令和6年1月30日 午前9時30分から午後12時15分まで
- 2 場 所 加悦保健センター（元気館）2階 農事相談室
- 3 議事の概要

[長島教育長]

それでは定刻になりましたので、令和5年度第10回与謝野町教育委員会会議を開催したいと思います。本日、会議の傍聴はありませんでした。

それでは、お配りしております日程に従いまして、会議を進行いたします。

日程第1「会議録署名委員の指名」についてでございますが、酒井委員と佐々木委員にお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

（両委員とも了承）

[長島教育長]

承認をいただきましたので、よろしく願いいたします。

次に、日程第2、「確認事項」といたしまして、会議録の確認をお願いいたします。

はじめに、11月28日に開催いたしました令和5年度第8回教育委員会会議の会議録につきまして、前回の委員会においてご指摘いただいた箇所について修正をさせていただいております。修正の通りご確認いただいたということでよろしいでしょうか。

（委員了承）

それでは、本会議終了後に署名をお願いいたします。続きまして、12月25日に開催いたしました令和5年度第9回教育委員会会議の会議録につきましては、修正等はありませんでしょうか。

[樋口委員]

文言の削除と一部訂正をお願いしましたが、内容が大きく変わるものではありません。よろしく願いします。

[長島教育長]

ご指摘の箇所を修正し、次回の教育委員会会議で承認・署名いただくことといたします。

[長島教育長]

それでは、日程第3、「教育長の報告」に入らせていただきます。

この5日には年頭の校園長会議に例年のとおりご出席をいただき、皆様より校園長の先生方へのご挨拶をいただきました。教育委員、町民・地域住民そして保護者のお立場、それぞれのお立場や観点から、今年も貴重なお話しをいただきました。新年早々に例年、ご無理・ご負担をお願いしているところですが、年頭に校園長が組織の長としての決意と覚悟を新たにするという意味からも、ありがたい機会でした。感謝を申し上げます。

園・学校訪問につきましても、昨日の三河内小学校訪問で11月よりお世話になって参りました本年度の訪問、ようやく終えることができました。熱心に保育・授業の見学をしていただいたこと、協議においても忌憚のないご意見をいただきましたこと、心より感謝を申し上げたく思います。次年度につきましては11月から12の校園の訪問をお世話になりますのは日程的に厳しさがございますので、できれば、こども園につきましては7月にするなどの工夫もできればと考えております。

そして1日に起きた能登半島地震の件で1月になりますが、震災関連死を含めた死者は一昨日の段階で236人、避難者は1万4千人以上と報道されており、二次避難所への避難、中学生の集団避難、孤立集落という東日本大震災の時には、あまりクローズアップされなかった言葉も新聞・テレビ等で取り上げられています。何れにいたしましても、お亡くなりになられた方々に心より哀悼の意を表し、被災されたすべての皆様にお見舞いを申し上げます。

また、能登半島と同じ半島に位置するところに住む私たちにとっては大きな地震が起ると、災害による交通途絶による孤立化、支援が遅れるという同様の状況が想定されます。災害に備える意識だけでなく、具体的に備えることが必要であると痛感しています。

それでは報告事項に入らせていただきます。まず感染症の状況ですが、レジユメの定点把握の数値のとおり、新型コロナウイルス感染症の緩やかな上昇傾向は続いており、報道では第10波に入ったと言われ始めています。また、12月上旬をピークに減少傾向にあった季節性インフルエンザも、同様の傾向があり先週の加悦小学校2年の学級閉鎖に続いて同じく4年の学年閉鎖、3年の学級閉鎖、石川小学校2年の学級閉鎖という心配な状況にあります。

これから各校園では卒園卒業に向けた取組や高校入試も始まります。二つの感染症の同時流行の懸念も含めて、予断を許さない状況が続くかと思えます。感染法上の取り扱いが2類から5類に移行していますが、基本的な感染症予防に努めながら、今までのコロナ禍で繰り返し起きてきた想定外のことに備えることも必要かと思えます。

次に園・学校の様子になりますが、9日の火曜日に第3学期の始業式を感染症の影響も少なく、暖冬の穏やかな天候の下で迎えましたが、先程申しましたように、今月中旬頃より感染症の影響が心配される状況が出てきています。そして、先週の24日の水曜日には大雪警報の発表により小中学校は臨時休業となりましたが、翌日25日の木曜日の朝は道路・通学路の除雪の状況が厳しく、安全の面で大変心配な状況がありました。また、加悦小学校においては、スクールバスのトラブルにより児童が乗車場所で長時間待機するといったことも起き、児童、保護者そして学校に迷惑・心配をかけたところです。

この3学期は、まとめの学期そして次年度に続く学期として、各校園で多くの取組や行事がなされますが、時間のこともありますので、1つだけ紹介いたします。先週の22日の月曜日に橋立中学校3年生の取組で宮津市・与謝野町の首長を招いて対談を行うという行事がありました。これは組合立という橋立中学校ならではの特色ある取組で、当日はふるさとの活性化のために何ができるかという視点で、生徒が考えた雇用を生み出す起業案

をプレゼンテーションしました。両首長から起業案へのコメントや生徒の質問に答える形で行われ、生徒にとっては貴重な時間を持つことができたと思います。

また、中学校受験の状況ですが、本年度は府立中学校を3校から4名が受験、私立中学校を4校から5名が受験しています。いずれも合格発表はなされています。

続いて社会教育関連ですが、1つ目は新しい名称となった2回目の二十歳の成人式ですが、今年は7日に3年間にわたり感染症対策として続けてきた2部構成ではない従来の形として、多くのご来賓をお迎えする形で4年ぶりに開催されました。当日は空模様も心配されましたが、幸いにして大きくは崩れることなく開催することができました。代表者による謝辞では心の籠った家族や周囲の方々への感謝、そしてふるさとである与謝野町を思う言葉には、大変感心したところでありました。当日の出席者はレジュメにある通りの数字でして、町外在住者を含みますが、成人式該当者は209名（男：119名・女：90名）で、当日の出席者は157名（男：95名・女：62名）でした。出席率75.1%となります。

2つ目は旧尾藤家住宅ですが、すでに昨年11月に重要文化財指定についての文化審議会からの答申が出ていましたが、この19日に官報に告示され、同日付けで国の重要文化財に正式に指定されたところです。

3つ目は幾地区にあります中世の室町時代の集団墓地の遺跡である地藏山遺跡ですが、この度、昭和37年に加悦谷高校の郷土史研究部と地元住民が主体となって始められた調査で、現在まで長きに渡った発掘調査が一つの区切りを迎え、19日に調査委員会が開催され、今後の保存と活用についての協議が行われたところです。

最後、その他になりますが、まず1つ目は、今後の主な進路関係の日程ですが、レジュメにあるとおりでございます。2月10日（土）私立高校入試、14日（水）～16日（金）私立高校合格発表、15日（木）公立高校前期選抜試験、22日（木）公立高校前期選抜合格発表、3月7日（木）公立高校中期選抜試験、18日（月）公立高校中期選抜合格発表、25日（月）公立高校後期選抜試験、27日（水）公立高校後期選抜合格発表。

続いて、2つ目は卒園卒業式関連ですが、レジュメのとおりとなっております。3月1日（金）公立高校卒業証書授与式、15日（金）中学校卒業証書授与式、21日（木）小学校卒業証書授与式、28日（木）こども園修了書授与式。ポストコロナで迎える初年度になりますが、ご来賓の出席についてはコロナ禍前に戻る部分もあります。ご理解のほどよろしくお願いいたします。

3つ目は、こちらのパンフは、先週の23日に清新高校で上演された演劇のもので、タイトルは「刻（とき）の波の中で」3年生の文化教養系列に属する21名全員が作り上げた劇でした。新聞記事を資料として用意しておりますが、内容は丹後大震災と太平洋戦争を題材に「生と死」「人はどう生きるべきか」などをテーマとしています。

脚本・演出については豊岡市の芸術観光文化専門職大学や専門家の指導も受け、当日は100名近くの観客を前に堂々たるものでした。21名の中には与謝野町から進学した者も6名おり、それぞれが自らの役割をしっかりと果たしていました。頑張っている姿、成長した姿を感じることができ、小中学校でなんとか支え続けることの大切さ、人は成長していくんだという当たり前のことを改めて強く感じた次第でありました。

最後4つ目は本日の議題になりますが、いじめ調査の報告、学級満足度調査の結果概要、来年度の学校教育指導の重点などの報告の後に、学校等の適正規模適正配置に関する基本方針についての最終段階のご協議をお願いできればと考えています。少し時間的に厳しい

部分もありますが何卒よろしくお願いたします。

[佐々木委員]

自分の娘も関係したことなのでお聞きしたいのですが、スクールバスの遅延についてです。積雪があった日に娘が家を出発する時間帯に、1時間遅れるという連絡がありました。娘はそれを知らずに出発をして、スクールバスの停留所で待機していたのですが、バスが遅れるため一旦帰宅しました。それから、自宅1時間待機してから出発したのですが、それから更に1時間待機することとなり、結果として7時50分のバスに乗車する予定だったものが、学校に到着したのは9時40分ということでした。朝の時間帯であり積雪している状態のため、親も出発する時刻が速いのです。私がそれらの話を聞きましては帰宅後であり、スムーズな連絡体制が取れると良かったのかと思います。

[長島教育長]

状況及び、対応を含めて中上教育次長説明をお願いします。

[中上教育次長]

バスの関係についてですが、当日朝の時点では積雪量は少なかったのですが、その後結構な雪が降り、バスが出発するのも遅くなりました。

その後、3号車のバスが大江山運動公園体育館の前に差し掛かった時、除雪が行われていなかったため動けなくなりました。学校とも連絡を取りながら進めていたのですが、バスが抜け出すのに時間が掛かりました。

本来、3号車は桜内から温江を回り、明石地区の方に向かって行くことになるのですが、バスが動けなくなったため、明石の子ども達は町の職員で学校まで送迎しました。バスが動くようになったのは1時間後でした。ご迷惑をお掛けしてすいませんでした。

連絡体制についてですが、電話連絡ができておらず、メールやさくら連絡網でやり取りは行っていたのですが、見ていただけない保護者もあり周知ができませんでした。

佐々木委員さん以外の保護者の方も、電話連絡が欲しいという声もありました。次回この様なことがある場合は極力、電話連絡を入れる体制を考えていくべきだと思います。除雪のタイミングが遅れたこともあり、今回の事態になりました。今後はその様なことが無い様に、できるだけ検討をしていきたいと思ひます。

[長島教育長]

児童が寒い中、1時間程度外で待たなければならない状態になり、たいへん申し訳ありませんでした。スクールバスの運行が開始してから始めての状況が起きまして、私達も分かったこととして、バスが四輪駆動では無く二輪駆動であったことも当日に把握をいたしました。雪の対応について、今後もしていかなければならないです。高岡総括から何かありませんか。

[高岡総括指導主事]

委員会も想定できていない件でして、学校も直前に連絡を受けました。学校の対応としましては、班長さんのお宅に連絡を行いました。班員さんに1時間遅れることを連絡して下さいと依頼を行い、班長によっては口頭連絡を行ったところもあるかと思われまひすし、

ご両親が電話をかけられたりしました。ご指摘の通り、家に誰もおられない家庭もあったのかと思います。学校はすぐに、さくらメールというものを出したのですが、全員がすぐに見ている訳ではありません。終わってから分かったという方もおられまして、それ1つで大丈夫であると考えてはいけないというのもあります。学校の職員は全て出勤している訳では無くて、集合場所に行ける人については、向かう様に校長が指示を出します。しかし、道路の状況の影響を受けてしまい、平常時の様にすぐ行くことができないこともあり、今回の様になったのかと思われまます。今回につきましては教育長が言われた通り、網羅できなかった部分を教育委員会及び学校で精査して、今後考えなければなりません。

[佐々木委員]

仕方の無いことでありましたので、次回に繋げていただきたいです。

[岡田委員]

そうした時に待合場所の近くの住民の方に何軒か見守りを、地域の方々をお願いをしていただきたいです。保護者の方がすぐに向かっていたけると良いのですが、集合場所に児童だけの場所もあるかも知れません。地域住民の方に気をかけていただきたいです。地域の方を巻き込んで、子ども達の安全確保に努めていただきたいです。登下校に限らず、地震が想定される場合もあるのかと思われまます。

[長島教育長]

登校に関して、地域の方々へのお願い等に関しては総括どうでしょうか。

[高岡総括指導主事]

そこまでの依頼はできていないかと思われまます。加悦小・中学校に関しては学校協議会が発足して1年近く経過します。そうしたところで今回の教訓を活かし、委員さんが言われました様に、もしも子どもが居たら近隣の方に向かって欲しいと依頼できれば良いのかと思ひ聞かせていただきました。

[長島教育長]

それでは次に、日程第4、「その他」に入らせていただきます。

始めに、令和5年度いじめ調査の2回目の報告及び1回目の追跡報告について、高岡総括指導主事が報告をさせていただきます。

(高岡総括指導主事から資料に基づき説明)

[長島教育長]

何か、ご質問等ございますか。

[岡田委員]

男性の担任が女子児童に対して、特に高学年になりますと男性の先生では言いにくいこともあるのかと、感覚としてあるのかと思います。そうした時に、擁護教諭の先生に入っただけなど、スムーズに対応していただきたいです。初期対応を先生がすると大事に

はなりにくいと思いますので、特に小規模校の場合ですとクラス替えが無いまま6年間過ごしていくので、嫌な思いが続かない様に、初期対応を先生方をお願いしたいと思いません。

[樋口委員]

確かに高学年、今は中学年ですかね、難しい部分もあると思いますし、岡田委員が言われました初期対応も大切なのですが、表現上、解決する様に見えるテクニックを子どもは意外に持っています。人間関係というものは特効薬の様に改善することは大人でも有り得なくて、現代の子どもについて関わられる以上は、その後も注意して見ていただきたいです。SNSの問題と同じで、表面的に見えづらいため、意外に遺恨が残るところもあると感じます。

[長島教育長]

その後の見守りの大切さをご指摘していただいたのかと思います。また総括から併せて、校園長会議の方でもお話をいたければと思います。

[長島教育長]

続きまして、令和5年度第2回学級満足度調査結果概要について、杉本指導主事から報告をさせていただきます。

(杉本指導主事から資料に基づき説明)

[長島教育長]

何か、ご質問等ございますか。

[岡田委員]

全ての学級が不安定型と報告をしていただきました。差し支えが無ければ、どこの学校でしょうか。

[杉本指導主事]

江陽中学校です。ちなみに加悦中学校も、その後を追いかけて始めました。

[岡田委員]

酷い時は授業が成り立っていない時期を見てきた経験もあるのですが、学校訪問をさせていただいた時は授業としては普通に成り立っていた様に感じました。内面的には子ども達の気持ちの中で、不安定と言いますか不満や不安を、反対に出している時の方が対処がしやすかった部分もあるのかと思われまます。

QUテストで個人がどのような思いで学校に通って授業を受けているのかを、きめ細かく先生方が担任だけでは無く、各教科の先生が一人の子どもに指導をしていただけるとありがたいと思います。いろんな意味で、今の中学生はコロナ禍で過ごしてきた時間が多く、私達が思っている以上に、したい事ができなかった中学生の生活を送ってきたのかと思われまますので、本当にケアをよろしくお願ひします。

[杉本指導主事]

学校で過ごす子ども達は、例えば1970年代、80年代は中学校・高等学校において校内暴力で荒れていた時代であります。しかしながら、それはヘルプサインであり、外から見ればおっしゃる様によく見えまして、悪さをしながら心の叫びを伝えていた時代であります。それが90年代から学級崩壊や不登校が社会問題化となり始めまして、表からは見えない児童や生徒の内面、そこに学校現場は難しさを感じ始めました。コロナによって非社会的な問題行動が見えづらくなり、それがコロナによって強化されました。

子ども達の心を可視化するために数値化するツールが必要になります。学校満足度調査以外にも、各校においてオリジナリティを發揮しながら様々な調査をしています。漠然と元気が無い、この学級が騒々しい、それだけでは具体的な回復や改善に向けての一手が撃てませんので、おっしゃられる様に心の部分を見つめて行く実践を3学期と令和6年度に繋げていきたいと、かなり強い意思を持っております。

[樋口委員]

私も岡田委員とほぼ同じ様な意見ですが、15年間のQUテストにおいて一番厳しい様な状況であると聞きまして、ある意味ショックだったのです。私も長く教育委員をさせていただきまして、過去には荒れたクラスで授業が成立しないクラスも拝見させていただきました中で、現状、落ち着いている姿を見て、勿論教職員の皆さんのご尽力の賜物でもあると思うのですが、現場の先生方は体感として荒れていると言いますか、危機的な状態であるという認識をお持ちなのでしょうか。それが無いと崩壊する時は簡単に崩壊する可能性を孕んでいまして、現場の先生方の感覚を教えていただけるとありがたいです。

[杉本指導主事]

本資料の4ページをご覧ください。下から3つ目の囲みですが、両括弧1番です。かつての荒れでは無い、静かな学級崩壊の進行と内面的な分断としての崩壊の歯止めと書いてあります。見えづらい荒れている様な不安定型であるが、手の打ち様も方針も具体的に見えやすいのです。今の児童・生徒の特徴は静かな分断、学級崩壊、これがはっきり言えると思います。

これはコロナで距離を取らなければならないこと、積極的に盛り上がりながら学校行事の中で人と繋がる様な経験が足りていないという前提があります。今の子ども達に象徴する言葉を言いますと、失敗しないために挑戦しないという不安感がベースにあります。無気力さが見えてきます。この文章に書いてあります様な静かな学級崩壊、暴力や子ども同士のトラブルでは無くて、静かに目立たずにこの学級に居続けられれば良い。何かをやって失敗したくないという発想になりますと、学校で学級を担当している教員又は担任外の教員もクラスに関わりますが、多くの職員は違和感を感じています。

教職員に対する意識調査の中では、悩みとして一番回答が多いのは学級経営です。2番目に授業作りです。学級をどの様に作っていくかは、その教師の人生に関わってきます。上手く行かなくて辞めていく教員はたくさんいます。教員は日々悩み続けます。特に小学生等は毎日のことです。漠然と上手くいっていない学級というものは、多くの教員が間違い無く感じてるはずで

[樋口委員]

その点も注視して、指導をしていかなければならないと考えさせられました。

[酒井委員]

感想としては、数字だけを見ますと中学校は非常に厳しいと思いつつ、子どもが求める満足が時代によって変わると思っています。今から何十年前の子どもは、食べられる物が食べられれば満足であると時代もあったという気がします。今では物質的な満足だけでは無く、精神的な満足という時代に変化していき、満足度そのものは与えられている教育の良し悪しに比例しているものではないであろうと思いつつ、それを含めて考えたとしても中学校は厳しいと感じました。

2点お伺いしたいのは、1点目はQUテストを導入する際に質問内容を見させていただいたのですが、その質問の内容である程度、満足をしていない、不満を持つ部分が、友人関係か、対教師関係なのか、学力なのか、満足できていない内容まで把握できるのかどうかという部分です。今の与謝野町の子どもが満足できていない内容を、もし分かるのであればそれを教えていただきたいのが1点です。2点目はコロナ禍の影響を考えてしまうのですが、全国的に見てこうした数字になるのもやむを得ないと理解すれば良いのか、コロナだけでは無い学校運営に関する課題があるのか、この2点を教えていただきたいです。

[杉本指導主事]

2点目の方から回答させていただきます。満足度については、全国的に低下の傾向にあります。この学級満足度調査を開発されました早稲田大学の河村茂雄教授の元へ再三行かせていただいたり、オンラインで情報を仕入れています。その元には、全国的な研究者も集まっています。

まず、全国的に満足度が低下していると言い切っても良い状態が続いています。それから1つ目についてです。質問項目につきましても、今から25年程前ですが、今以上の質問項目を可能な限り取り上げていきまして、その中で学校生活の状態、児童生徒の内面的な心理学の視点を入れながら精選して項目を絞ったものであります。

現在の数少ない学級集団の診断や、児童生徒のメンタル面を測定するツールとしては、今の日本には、これ以外無いと言い切れると私は思います。その中で大きな課題となっていますのは、酒井委員がおっしゃられた様に、不登校の子ども達の回答に共通していますのは、いじめ以外の友人関係、それから学力です。そして、教員との関係性、この3つが最も多い領域になります。しかも不登校になってしまった子ども達のきっかけは、その3つのうちの1つ、教員との関係性を回答している児童・保護者も調査に入っており、その様な結果が出ています。

とりわけ小学生においては4番目に親子関係が入ってきます。家庭での養育環境が、学校生活に良好な生活を送ることを妨げていたり、将来の自己実現に対しての夢を萎ませていたり、ましてや人間関係作りは難しいのです。これに挑戦していく様な背景を家庭のうちの中で身に着ける部分が多いと思われれます。

[長島教育長]

何か、ご質問等ございますか。

[長島教育長]

時間が短くなりましたので、10分間程度休憩に入らせていただきます。

(暫時休憩)

[長島教育長]

それでは休憩を閉じ、会議を再開したいと思います。続きまして、令和6年度学校教育の指導の重点につきまして杉本指導主事から報告をさせていただきます。

(杉本指導主事から資料に基づき説明)

[長島教育長]

何か、ご質問等ございますか。

[長島教育長]

ご質問が無ければ、続きまして、全国及び京都府学力状況調査につきまして高岡総括指導主事が報告をさせていただきます。

(高岡総括指導主事から資料に基づき説明)

[長島教育長]

何か、ご質問等ございますか。

[樋口委員]

過去にもこうした広報をされて、町民または保護者の方々から反応というものがあったのでしょうか。

[高岡総括指導主事]

過去ゼロです。これを1つのベースにしながら各小中学校のPTA総会で、学力の状況報告をされるので、そこでやり取りはされているのかと思うのですが、教育委員会の方への問い合わせはゼロです。

[樋口委員]

広報されることが大きな教育方策の1つかと思いますので、今後も続けていくべきだと思います。

[長島教育長]

それでは続きまして、「学校等の適正規模適正配置に関する基本方針」の改定版についての協議の方に入らせていただきたいと思います。

(「学校等の適正規模適正配置に関する基本方針について」協議)

[長島教育長]

他に事務局からありましたら、お願いします。

[中上教育次長]

次回、教育委員会議の日程調整をさせていただきたいです。

(次回教育委員会議の日程調整)

[中上教育次長]

次回の教育委員会議については、2月26日(月)となります。午前9時半からお世話になりたいと思いますので、よろしく願いいたします。

[長島教育長]

以上で本日の会議を閉会いたします。お疲れ様でした。

午前12時15分 終了

教育長

委 員

委 員

書 記

教 育 委 員 会 日 程

日 時：令和6年1月30日（火）

午前9時30分～

場 所：加悦保健センター2階農事相談室

日程第1 会議録署名委員の指名

酒井委員 佐々木委員

日程第2 確認事項

会議録の確認

日程第3 教育長の報告

日程第4 その他

◇令和5年度いじめ調査（2回目）報告及びいじめ調査（1回目）追跡調査報告について

◇令和5年度第2回学級満足度調査結果概要について

◇令和6年度学校教育指導の重点について

◇学力状況の広報について

◇学校等の適正規模適正配置に関する基本方針について

◇今後の予定について